



小国中だより

小国町立小国中学校
令和2年12月16日
文責 八木幸夫

とても残念です 傘の紛失

保護者の方から傘の紛失についてご連絡をいただきました。学校に持っていった傘が見えなくなり、濡れて帰ってきた。傘には記名もしてあった。小学校の時から今まで、何度かあったとのことでした。校内での物の紛失があることを非常に残念に思うとともに、十分な管理ができなかったことについてお詫びしたところです。また、本人から詳細を聞き、全校生に指導することを確認しました。

12月15日、朝の段階で見えなくなっていた傘が戻ってきていたという報告がありました。ホッとした反面、複雑な思いもこみ上げてきたところです。

校長として本校に赴任して4年目となりました。「小国中だより」の発行も350号を越えようとしています。毎年「傘が見えなくなりました」「傘の紛失について」「物の紛失が続いています」・・・、こんな見出しで記事を書くことが続いています。なんとも情けなく、悲しい気持ちになってしまいます。傘が戻ってきたとはいえ、素直に喜べない思いが残りりました。おそらく、私のこんな気持ち以上に、物が見えなくなった本人はもちろん、保護者の方も、嫌がらせを受けているのではないかと不安や心配になったはずです。その意味では、「いじめ」にあたる行為です。また、個人の私物を意図的に無断で持ち出すことは、刑法上の窃盗罪（10年以下の懲役または50万円以下の罰金）もしくは占有離脱物横領罪（1年以下の懲役または10万円以下の罰金）にあたります。犯罪行為が繰り返される学校であってはなりません。

昼に行った全校集会で生活指導担当の樋口先生から傘の紛失があったことを説明し、取り違えや、誤って持ち帰ることのないよう全校生に指示をしました。また、「傘を忘れた時には、学校のレンタル傘を自由に使ってかまわない。他人の持ち物であると知りながら、軽い気持ちで持ち帰るようなことは絶対にあってはならない。」と指導したところです。

しかし、放課後、今度は別の生徒の傘がに見えなくなったとの報告があり、探しましたが見つかりませんでした。

本日、傘の紛失について全校生にアンケートをとり、傘の紛失が他にないのか確認しました。アンケートの結果を受けて、私物の管理についてあらためた検討し、指導を継続していきます。小国中生には、これまで繰り返し訴えてきたことを今あえて繰り返します。

「やらなければならないことは必ずやる。やってはならないことは決してしない。」
強い意志を持って、正しい判断で行動することを期待します。

今年度、防犯標語コンクール優秀作品に輝いた標語を紹介
します。

その行動 後から 後悔しないかな（1年 佐藤樹果さん）

犯罪は 相手も自分も 傷つける（1年 遠藤心菜さん）

自分の行動に責任を持ち、自分も他人も大事にする生き方を大切にしたいと思います。

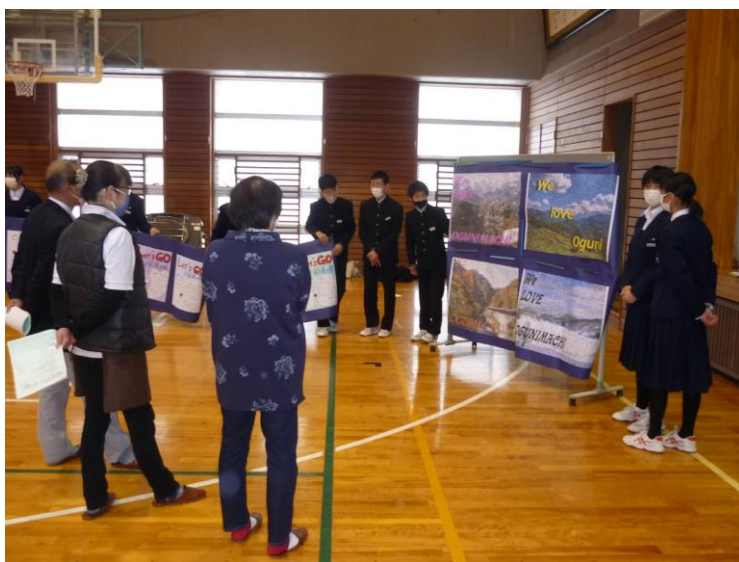


2年生白い森学習発表会

12月14日（月）、2年生が白い森学習（総合的な学習）で取り組んできた小国町活性化プロジェクト「発信 道の駅から」についての発表会を行いました。仁科洋一町長、遠藤啓司教育長をはじめ、町職員、道の駅職員の皆さん、後援会、学校運営協議会、学校パートナーの皆さん小国高校の先輩方など、21名をアドバイザーに迎えて、6つのグループが3つのプレゼン会場で道の駅の活性化のための提案を披露しました。

【アドバイザーの皆さん】

仁科洋一 町長
遠藤啓司 教育長
佐藤 優 君(小国高2年生)
石塚 翼 君(小国高2年生)
今野優希 君(小国高2年生)
保科奈緒さん(小国高2年生)
伊藤弘行 後援会長
舟山孝夫 学校運営協議会長
渡邊重信 学校運営協議会副会長
青木伸幸 PTA 会長
齋藤恒助さん(学校パートナー)
志田やよ江さん(学校パートナー)
本間富美子さん(学校パートナー)
岩沢ちかさん(学校パートナー)
今野美喜子さん(学校パートナー)
竹内健太さん(道の駅白い森おぐに)
木村明美さん(道の駅白い森おぐに)
和田一江さん(道の駅白い森おぐに)
遠藤 愛さん(小国町役場)
仁科駿平さん(小国町役場)
小松 諒さん(小国町役場)



6つのグループ（ポスター、キャッチコピー、ゆるキャラ、CM動画、スタンプラリー、顔出しパネル）による発表にアドバイザーの皆さんから質問や意見をいただきました。和やかな雰囲気にも交えて有意義な時間となりました。その後、アドバイザーからは、動画を公開する提案や商品化を進めてマーケットを開催するなど、アイデアを具体的に実現させてやりたいとの提案をいただくなど、今後につながる発表会となりました。

【アドバイザーの感想から】

大変素晴らしい発表でした。町の活性化を思い、中学生がいろいろな角度から考えてくれたことに感謝です。すぐに実用化できるアイデアも有り感心しました。ありがとうございます。

（仁科洋一 町長）

中学校のうちからここまでガチって探究していてすごい！！商品まで作り出して販売まで考えている姿に感動した。自分は高校からだったので皆さんがうらやましい。5W1Hまたは6W2Hを考えたらもっと詳しくなると思います。

（小国高校2年 今野優希 君）

小国のことをよく調べて、小国を好きになってくれているのが嬉しかったです。すぐにでも商品化したり、使用できる物があったので、今度は大人が子ども達のが頑張りに応じて欲しいと思いました。

（学校パートナー 岩沢ちかさん）

